



TOYAMA PREFECTURAL REPORT

特集/緑豊かな県土をつくる

県広報

とやま

1989 No.245 6

異国情語

中国留学生 孫久富



人生は短い。その短い人生の中で、国境、民族の限界を越えた人間同士の出会い、その出会いから進る友情の火花ほど美しく、壮烈なものはないであろう。

風光明媚な富山にきて、早くも二年間の日々を過ごした。この二年間、富山県の清らかな自然風土と厚い人情が私の寂しく、孤独であるはずの留学生生活を彩ってくれた。

春の宵、神通川のせせらぎを聞きながら、六畳の部屋に書物をいっぱい散らかして、先生に与えられたテーマで論文を書く。机の灰皿に煙草の吸殻が山のように

に積んである。

「喉が渴いたろう」と下宿のおじさんが静かに部屋に入って、赤い林檎を一つ机に置く。窓際で食べながら、奥深い空を瞬く星を眺めると、遠い故郷の父の顔が下宿のおじさんの顔と妙に重なってくる。

「よし、頑張ろう」と、再び机に向い、筆の囁きの中で長い夜を明かす。

夏の日、立山の雪嶺が窓に映る研究室で、論文の構成を報告しながら、先生の御教示を請う。慈愛深いお顔、押付けることのない易しい口調、難問は談笑の中に解けてしまう。

秋の朝、透明な空気の中を、完成した論文を携えて、先生に連れられて東京の学会に出る。教壇に立つ時の緊張と興奮、そして先生の励ますような眼差、発表成功の喜び、すべて昨日のように思い出される。

冬の晩、雪が枯れ野を包むとき、旧友、新知が一堂に集まり、刺身、鍋料理、ギョウザを食べ、清酒を飲みながら、古今東西の話に花を咲かせる。時には、顔は真っ赤にして論争することもあり、時には、意見が一致して思わず顔を綻ばせることもある。魂のぶつかり合い、心の融合、これによって、何気ない人間の出会いが純粹な友情に昇華する。

二年間の留学生活はこのような断片で綴られている。充実、またかけがえのないこの二年間、私の短い人生の中で最も貴重で、忘れられないものとなるであろう。

人生は短い、友情は無尽。心の触れ合いで織り成した絢爛たる綾の糸が国境、種族を乗り越え、世界の人々を繋ぐ。友情のあるところに暗黒、孤独なし、あるのは光明と希望のみ。



短い言葉に思いを託して

第6回現代俳句協会新人賞受賞、田尻睦子さん

「今回の受賞を一番喜んでくれたのはうちの母。これでやっと親孝行できました」と語る田尻睦子さん。第六回現代俳句協会新人賞に全国からただ一人選ばれました。

今回新人賞を受賞した作品は「ブラジャーAカップ白夜の猫でいる」「スカートの襷よりの春の霽かしら」「蟹を食べ胃のなか雪が降っている」など三十首「毎日が勉強、いろいろなことに興味を持っています」というだけあって、いずれもみずみずしい現代感覚あふ

れる作品です。

そんな田尻さんが俳句を始めたのは十年前のこと。根っからの読書好きで、小さい頃は親や兄たちに内緒でこっそりと本を読むのが楽しみだったとか。その時は小説家を志していましたが、俳句のおもしろさに惹かれこの道に。

「俳句は自分のいい言葉直接的には使わず、一番短い、一番吟味された言葉で、自分の表現したいことを相手に想像させる言

葉の遊び。五・七・五の形の中で頭の中に果てしなく広がる物語を作っていきたくいですね」

俳句の道に入って言葉の大切さを改めて感じたという田尻さん。まだまだ修業中と謙遜するが今後の活動については意欲的。「俳句に評論に、自分の可能性を探ってみたい」と夢は広がります。

いつまでもみずみずしい感性とチャレンジ精神を持ち続けている三児の母は、この新人賞を機に大きくはばたきそうです。

「蟹を食べ胃のなか雪が降っている」



NHK『熱きまなざし』砺波ロケ、開始

シリーズドラマ10 「熱きまなざし」迎



五月六日から五月十五日にかけて、NHKのシリーズドラマ・16「熱きまなざし」のロケが富山・砺波で行われました。

これは、チューリップと散居村の町砺波を舞台に、二十三年間別れていた父（田村高廣）と子（村上弘明）の愛憎を高校野球を通して描いた人間ドラマで来年二月十九日から計四回放映されるもの、出演者は他に、野際陽子、永島瑛子、ケーシー高峰、梅津栄などの皆さんです。今からテレビ放映が楽しみに待たれます。



富山県—中国遼寧省、友好県省締結5周年

遼寧省友好代表団来県



富山県—遼寧省友好県省締結五周年記念式典



富山県と中国遼寧省は、昭和五十九年に友好県省を締結。科学技術、教育、文化、スポーツなど幅広い分野で交流を進めてきました。

今年には締結五周年に当たり、李長春省長を团长とする友好代表団一行十七人が五月九日に来県し、知事省長対談、記念式典、講演会、記念物品の除幕式などが行われ、県からは六か国語同時通訳装置一式、省からは岫岩玉製置物「群仙祝寿」が贈られました。一行は、十日には、県植樹祭に参加した他、県内を視察、翌十一日は両県省の児童書画展を観賞した後、立山黒部アルペンルートの大自然を心いくまで楽しみました。

遼寧省が力を入れている遼東半島経済開放区への投資について、県が県内企業へPRを行うことや、職員の相互派遣など新たな事業を展開することで合意に達し、一層の交流を誓い合いました。

伏木・守山間が便利に!

—— 二上大橋開通 ——

祝 県道高岡環状線 二上大橋竣工

富
山
県

二上大橋開通式実行委員会



高岡市二上地区と国道一六〇号を結ぶ主要地方道、高岡環状線の小矢部川に架かる「二上大橋」の完成式が四月十四日、現地で行われました。

この二上大橋は、高岡短大や県工業技術センターなどがある二上地区と一六〇号線を結ぶため、県が五十八年に着工、総工費十七億円をかけて、このほど完成しました。

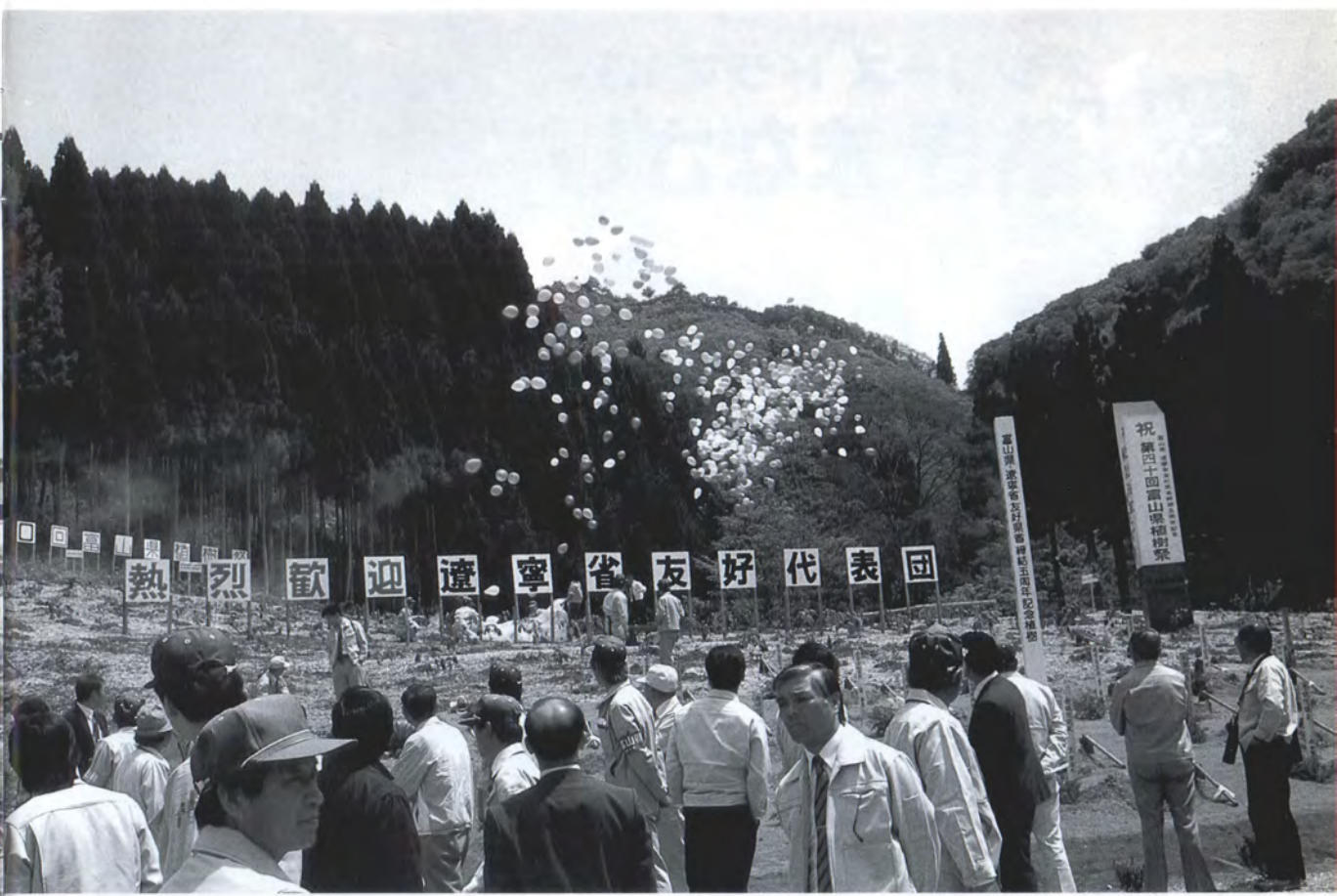
橋は長さ百六十七メートル、幅十二・五メートルで、住宅地を通過することから耐震性などを考慮し、コンクリートの中に鋼材を通した、「二径間連続プレビーム合成桁」をわが国で初めて取り入れている他、欄干にはかたかこの花をデザインしたパネルを設置、「高岡らしさ」を醸し出しています。

なお、開通式には、副知事、高岡市長ら関係者約五百十人が出席、地元の保育園児六十人がみこしを担いで渡り初めをし、完成を祝いました。



緑豊かな明日をめざして

—— 第40回富山県植樹祭開催 ——



「子とともに植える緑に明日の夢」をテーマに、五月十日、第四十回富山県植樹祭が開かれました。今回、会場となったのは利賀村坂上の広場で、林業関係者等約千三百人が参加。また、今年の植樹祭は中国遼寧省との友好県省締結五周年記念事業にもなっており、式典に先立ち、友好団の一行に園児からの花たば贈呈やキジの放鳥などが行われました。

式典では、中沖知事らのあいさつの後、李遼寧省長が「植物を通じての縁結びも図りたい」と友好メッセージを述べ、引き続き、緑化推進に功労のあった「団体七人の表彰が行われました。最後に「家庭や職場、地域で積極的に緑化を推進します」と宣言が読みあげられ、植樹に移り、タテヤマスギ、トチノキ、ミズナラ、ブナなど九種類千三百本の苗木が参加者の「大きく育つように」との願いを込めて丁寧な植えこみが行われました。



特集

緑

豊かな県土をつくる



美しい自然に恵まれた豊かな県土は、県民の誇りであり、
私たちの健康で文化的な生活は緑豊かな自然環境が、
基盤となって営まれています。

また、活力ある緑溢れる森林は、木材の生産、国土の保全、
水資源のかん養、レクリエーションの場の提供、
また、大気浄化や防音などの環境の保全や
生活環境の修景美化に多様な機能を発揮しており、
私たちの生活にとって恵みの源泉であるといえます。

幸い、富山県は立山や黒部峡谷などの中部山岳国立公園や
豊かな水に育まれた緑の田園地帯など多種多様な植生に恵まれて
本州第一位の植性自然度を誇り

明確な四季とあいまって美しい県土を形成しています。

私たちは、優れた県土を守り、自然との調和を図るため、
更に良好な緑の環境保全と積極的な造成・整備に努めることが肝要です。



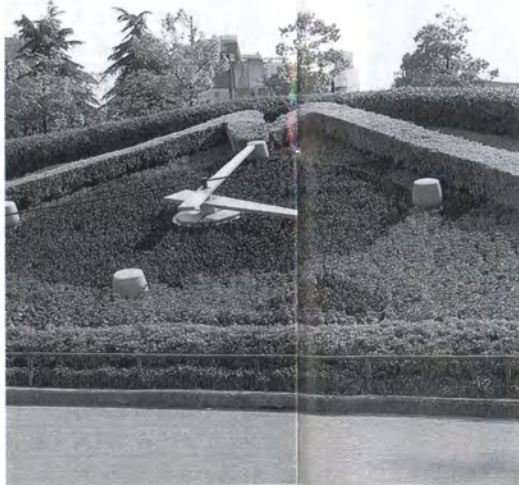
富山県グリーンプランの進捗状況

施設等	昭和57年度現況	昭和63年度末実績累計(A)	平成2年度までの目標値(B)	達成率(A)/(B)
緑化グループの育成	253グループ	1,532グループ	2,000グループ	76.6
グリーンキーパーの設置	0名	311名	311名	100.0
都市公園	598.7ha	927.1ha	1,100.4ha	84.3
農村公園	7.2ha	15.1ha	15.0ha	100.1
学校緑化	58.8ha	62.8ha	62.8ha	100.0
街路緑化	119.0km	154.5km	206.0km	75.0
緑道 (サイクリングロード)	26.0km	69.9km	85.0km	82.2
農道緑化	0 km	29.9km	40.0km	74.8
港湾緑化	2.6ha	6.3ha	7.2ha	87.5
工場緑化	265.0ha	381.0ha	425.0ha	89.7

富山県民総合計画は、「活力と温かい心に満ちた
美しいふるさととやま」の創造を目指しています。
そして「花と緑の日本一」への挑戦は、この目
標を実現するための根幹をなすものといえます。
県では「日本一の花と緑の県づくり」を総合的
に推進するために、昭和六十年にグリーンプラン
を定め、それに沿って様々な緑花活動を進めてい
ます。

グリーンプランとその進展状況

グリーンプランに沿って、昭和六十二年四月砺
波市にエレガガーデンがオープンし、また、JR
富山駅、JR高岡駅、富山空港にはカレンダー花
壇が、県庁前公園には花時計が設置されました。
公園、学校、街路の緑化も進み、計画の達成
率はおおむね八〇%を超えています。
また、緑花フェスティバルや有峰フェステバル
などのイベントの開催、緑花グループの育成など
にも努め、県民の緑花意識の高揚を図ってきまし
た。



（花と緑の日本一をめざして）

今年度行われる主な事業

今年度はグリーンプランを引き続きすすめていくとともに、県土をさらに豊かな花と緑に包まれたものにするため、県民緑花カレッジの開催や花の名所の環境整備、また、植物公園構想や全県域公園化構想の策定など様々な緑花事業を積極的に展開していきます。

植物公園の整備

近年、開発と都市化が進展する中で、花や緑は環境を保全し日常生活にうるおいと安らぎを与えるものとして、欠かすことのできないものとなっています。

また、植物は古くから重要な資源として利用されてきており、人間と植物のかかわりあいは、今後さらに緊密さを増していくと考えられます。そこでこのような植物の生態等を研究する植物園としての機能と、植物そのものの美しさ、うるおいを楽しみながら、憩い、安らぐ公園としての機能と併せ持つ「植物公園」の整備を望む声が高まり、県では今年度その構想策定に着手します。

植物公園整備の基本方向

富山県には、本州日本海側に分布する、南方系・北方系植物のいずれもが生育しており、また海拔〇メートルから三千メートル級の山々に至るまで全国でも有数の高度的広がりをもつ県土であるため、海浜植物から高山植物までの多様な植物も生育しているほか、積雪地帯特有の植物も見られます。

こうした本県の地域特性を生かし、県下各地の優れた植生地や公園施設等を活用して、核と

なる本園を中心に、それぞれ特色を持つ公園を県内各地に配置して、全体として一つの植物公園を形成していきます。

全県域公園化構想の策定

全県域公園化構想とは、県土をうるおいに満ちた美しい環境にするという考え方を一歩進めたものであり、県土を一つの美しい公園とイメージし、長期的展望に立つてその保全と活用を総合的かつ計画的に進めようというものです。

県全域を花と緑、清らかな水や白い雪で豊かに彩るとともに、県内各地域において文化的環境づくりや楽しみの場を整備し、県民にとって公園のようにうるおいに満ちた美しく快適な県土を訪れる人にとっても、再び訪れてみたくない印象深い県土を、全県民の参加のもとに築き上げていこうというものです。



とやま花の名所 《位置図》



選定番号	選定地名	「花」の種類	所在	植栽の状況等
1	宮野運動公園	サクラ	黒部市	サクラ1000本
2	長引野丘陵	スイセン・カノコユリ	魚津市	スイセン3haカノコユリ6ha
3	行田公園	ハナショウブ	滑川市	100種5万株
4	黒部峡谷	紅葉・新緑	宇奈月町	24,058ha
5	あさひ城山公園	サクラ	朝日町	サクラ1000本
6	小摺戸神明社と 下山八幡社	フジ	入善町	幹回り2.8mと 幹回り2.3m
7	磯部・松川堤	サクラ	富山市	サクラ400本
8	呉羽丘陵	ナシ	富山市	214ha
9	富山市フラワースタジアム	草花・花木など	富山市	58,291㎡
10	おおさわの寺家公園	サクラ・ツツジ・紅葉	大沢野町	67,397㎡
11	大川寺遊園地・ 常西合口用水堤	サクラ	大山町	サクラ433本
12	ありみね湖	紅葉・新緑	大山町	1,200ha
13	称名滝	紅葉・新緑	大山町	400ha
14	立山 アルペンルート	高山植物のお 花畑 紅葉	大山町	1,300ha
15	八尾神通さくら提	サクラ	八尾町	サクラ700本
16	県緑化センター	サクラ・ナノハナ・コスモス	婦中町	サクラ240本
17	神通峡県定公園	紅葉	大沢野町	1,160ha
18	高岡古城公園	サクラ	高岡市	サクラ2700本
19	水道つづじ公園	ツツジ	高岡市	ツツジ25000本

花の名所の環境整備

今年度新たに、景観、風致性、歴史性、規模などに優れた花の名所に選定しました。

①「花」に由緒があるなど古くから人々に親しまれているところ

②「花」が、自然景観と一体となって優れた風致性を持ったところ

③「花」の自生地、生産地であるところ

④公園などの施設があり、特徴ある「花」を楽しめることなど県民が広く気軽に利用できることです。

なお、県では「とやま花の名所」ガイドブックを平成二年春に作成し、広く県内外にPRする予定です。

県民緑花カレッジの開設

憩いややすらぎに対する県民ニーズの高まりや、余暇時間の増大などにより、県民の緑化推進活動は活発化し、緑花に対する学習意欲も高まりつつあります。

県では、今年度新たに、県民だれもが緑花の知識、技術を学べるよう、一般・指導者養成、特別の3コースの講座がある「県民緑花カレッジ」を開設し緑花意識の高揚、生産学習体系の整備を図っています。





木と話を聞いています

氷見市

中田市郎さん

山に映えるきれいな緑。ただ放っておくと雑然とした雑木林となりますが、手入れされた山林は歩いていてもさわやか。見る人の心を和ませてくれます。

そうした中、林業を始めて五十余年というのが氷見市在住の中田市郎さん(72)。今でも三日のうち二日は山に行って木の手入れをしているとあって元氣そのもの、年をまったく感じさせません。現在も指導林家として活躍しています。

よく、林業は先の長い仕事、百年、二百年先を見てやらないといわれますが、中田さんが今、育てているポカ杉も一本出荷できるまでに最低でも二十五年ほどかかるのか。年間で百〇百五十本。山全体で一万余りの木を一人前に育てている中田さんの苦勞もひとしおです。山で実際に行っている作業は、植林、根曲がりの防止、間伐、下草刈り、伐採などですが、



街角のオアシス、つづまどと高崎スミ子さん

富山市

高崎スミ子さん

富山市清水町。近くをいたち川が流れる閑静な住宅街を彩っているのが美容院を営んでいる高崎スミ子さんのお宅。白い家とベランダに咲き乱れる花々。下の花壇には五種類の花々が植えてあり、見る人の目を楽しませてくれます。昔から花のある家に住みかかったという高崎さんは子育ても一段落、子供の頃からの夢を突

てる手にも力がいいる。「毎日、花を見るのが楽しくって。世話をしていると時間のたつのも忘れてしまいます。暇な時は花壇のデザインをいろいろ考えてしまうんですよ」。最近では、孫を連れた近所のお年寄などが花を見に来るなど憩いの場ともなっている。



現させようと三年前から花を植え始めた。「よく庭で花を育てて外から見えないようにしている家があるんですが、せっかくなのできれいに咲いているんだし、みんなに見てもらった方がいいと思って」。植えてある花はみんな外へ向け、形よく整っている。最初は少しだけやっていたのが、年を重ねるにつれ、工夫が加わり、これで二年連続の「花と緑の街角賞」を受賞している。花を育

「みんなに見に来られるといい意味でプレッシャーになります。これからは親まれるいい花壇を作っていきたいですね」。街角を彩る花壇、これからもみんなの目を楽しませてくれそうです。

街々彩々花二輪

小杉町

撰津浩二さん

ウインドボビー、バンジー、キンギョ草、チューリップと色鮮やかな花々が道を彩るここ小杉町中太閤山。道端に備えつけてある五十余りのポットが見る人々の心をなごませてくれます。その五十余りあるポットに植える草花の技術的な指導をしているのが、花のある暮らしがしてみたくてここに移住したという医師、撰津浩二さん(64)です。なにしろ、撰津さんは医者になつていなければ多分園芸家になっていたであろうというほどの花好き。それがこうして「町の通りにも花を」と自らが中心となって花の指導にあたってきました。

「よく花の手入れをしていると、『たいへんだね』とか、『一生懸命やっているね』と声をかけてくれるんですが、それよりも『きれいな花ですね』と声をかけてくれるほうがよっぽどうれしいんですよ。園芸好きには花を愛する撰津さんの花づくり。街はきれいな花が彩りを添えています。



「街を歩いていて、ふと、気がいたらそこに花がある。しかも、ただドバーと咲いているだけじゃなくて、ワンポイントあるような。そんなお洒落な町にしてみたいと思って」。撰津さんの花づくりの基本はデザインから。





今日ね

みんなで川魚とりをしたんだよ

川魚って

小さくって

冷たくって

とってもピンピンしてるんだ



こんな時、私達のドアは、開いて下さい！

レポーター：室山博子さん(富山市)

“消費税ダイヤル” “おおいに”利用下さい！”

室山●消費税やそれに伴う便乗値上げを防ぐために、県ではどのようなことをされていますか。
——県民の皆さんの疑問や苦情にお答えするために、今年の四月一日から「消費税ダイヤル」を設けています。四月の一ヶ月間に三八〇件もの電話がありました。中には、お話が一時間にもわたるものもあつたんですよ。やはり、新しい税制だけに、消費税の仕組みについての問い合わせや便乗値上げはないかというものが

これは消費税？便乗値上げではないかしら？
品質表示は正しいの？
お年寄りや子供を事故から守ってほしいね。
地価が高すぎない？
消費生活、交通安全対策、土地対策……
毎日の生活の中から生まれた疑問にお答えします！

多かったですね。県では生活に密着したトイレットペーパー、洗剤など五十二品目の商品について価格調査を行い、便乗値上げがないかを監視するとともに調査結果を新聞に載せたりもしています。皆さんも日頃から商品の価格に関心をお持ちになり、便乗値上げを防ぐために賢い消費者になつていただきたいと思います。

室山●スーパーのちらしの内容が、実際に買いに行つてみると違つていたりすることもありませんね。
——うそや誇大な広告で客寄せをするようなちらしをチェックして、その店に電話したり、直

接出向いて改善の指導をしています。また、物価安定について、県民啓発の一環として、「物価バス教室」の開催や情報誌「物価とくらし」を毎月発行しています。特に人気があるのは物価バス教室で、皆さんに実際に卸売市場など流通機構を見学してもらい、価格決定の仕組みについて、理解が深まるよう努めています。



“高齢者無事故百日運動” と展開

室山●去年交通事故死者数が十四年ぶりに百年寄りの方なのです。そこで、お年寄りを事故から守るために、「交通安全ことぶき県民運動」を展開しています。特に、今年の新しい企画として、「市町村別高齢者無事故百日運動」を行っています。これは、市町村ごとに高齢者の人口に対する交通事故件数の比率を調べて、発生率の低い市町村を表彰するというものです。この他にも病院等での診察の際にお医者さんから交通安全を呼びかけてもらうなどきめの細かい啓発活動を行っています。

室山●その他、県民生活課ではどのような仕事を

をなさっているのですか。

——土地対策の仕事があります。例えば、地価の上昇率の高い富山駅周辺を監視区域に指定して、その区域で三百平方メートル以上の土地取引を行う場合は、県知事への届け出を義務づけています。そして、取引価格が不当に高くないように監視しています。

室山●なかなか大変な仕事ばかりですね。

——県民生活課は、県民生活に密着した仕事をしています。知事がよく言っていますように、県庁は県民の「デパート」です。これからもどうぞお気軽にご利用して下さい。

室山●はい。県民の立場に立つて考えていただけるのは大変嬉しいことです。



とある記
さるある
ふるみる

宇奈月町

今、黒部峡谷は新緑の季節。黒部峡谷鉄道のトロッコに揺られていくと、鮮やかな緑が目にする。

登山暦20年。富山県ただ一人の総合登山家



「小さい時から親の手伝いで炭焼き小屋まで登ってたけど、目的を持って登山を始めたのは二十三年の時からかな。」と語る山岳ガイドの高嶋石盛さん(42)。黒部川水系の山々

「小さい時から親の手伝いで炭焼き小屋まで登ってたけど、目的を持って登山を始めたのは二十三年の時からかな。」と語る山岳ガイドの高嶋石盛さん(42)。黒部川水系の山々

に足を踏み入れて二十年という、登山のベテラントだ。

山に登り始めたきつかけとは言え、「自分の住んでる所なのに、納得できる記録がないんだよ。そのうち、溜めてある写真や記録を発表しようと思ってるよ。」高嶋さんが蓄積している記録は相当のものらしい。

「例えば雷鳥の数はわかっていても、どの辺りまで降りてくるかは全然知られていないし、従来の登山道からちよっと奥へ入った写真はあまり出されていないよ。登山ルートとか、動植物の分布状況を表わした資料もまだまだだね。」登山がおもしろくて仕方ないという様子だ。

「小さい時からやっとなるから、岩登り、河原歩き、やぶ歩きとか総合的な技術は持つてるちゃ。問題は体力の維持だけだわ。」なにしろ一年のうち二百日は山に入っている山男。それでも悩みはある。総合的な登山をする人がいないそうて、後継者難が悩みの種。

「黒部川水系の谷筋、尾根を覚えるだけで二十年かかったし、記録もまだ十分だとは思ってらんからね。どっかに後継いてくれる人おらんかねえ。」宇奈月の山々は、高嶋さんに次ぐ登山家を待っている。

研究熱心な
宇奈月の
おかあちゃん
新しい特産品いなぎび



「いなぎびの生産が本格化したのは、昭和六十年ごろからだね。六十一年に組合ができたんやちや。」宇奈月では、むらおこし活動としていなぎびの特産化を進めている。その中心となっているのが、「ひばり野グループ」をはじめとする婦人グループ。そこで、いなぎび生産組合組合長の大勢待みな子(60)さんに話を聞いた。

「他のところでも作ってるけど、こんなきれいな黄色になるがはこだけみたいだね。いろんな所から種をわけてくれ言うてきて、大変だね。」黍はきびだんごで有名なイネ科の一年草で、米よりも小さくて丸い形をした穀物。いなぎびはその一種だ。

「小中学生が参加してくるの、一番大事ですよ。小さい時から故郷を愛する心を育てていき



たいですからね。」むらおこし、過疎対策もかねているようだ。

「今年の案ももう出ているんですよ。お光が腹んでいるところもやろうとかね。」今年も意欲満々。愛本橋に、新しい伝統が生まれつつある。

宇奈月町の概要

人口 7,359人(4月1日現在)
面積 341.20km²

黒部峡谷を中心とする山岳地帯と下流の扇状地平野の扇頂部分からなる宇奈月町。黒部峡谷は神秘的に満ちた溪谷美を見せ、湯にけむる宇奈月温泉は県内最大の湯泉地として発展している。さらに、芸術性豊かなブロンズ像を設置し、安らぎと潤いに満ちた魅力ある湯泉街づくりに力を入れている。



六十三年には宇奈月農村活性化センターがオープンして、商品化への設備は整っている。

「きびもち、きびおこし、きび茶はもう製品化して出してるがだけど、他にもおはぎ、だんご、クッキーの作り方も研究してるがんせ。」製品はまだイベントに出しているくらいだが、評判は上々だ。

「機械では刈り取れんがて、たくさんできんがやけど、もつと数増やしてみやげ品として売っていきたいちゃ。」新しい特産物として、宇奈月町の期待は大きい。

愛本橋の大蛇伝説

「愛本橋近くの茶店にお光という美しい娘がいた。ある日お光は若者に身を変えた大蛇に連れられ、行方不明になった。三年を経て帰ってきたお光は、蛇の姿となりお産をした。蛇の姿を親に見られたため縁を切り、ちまきの作り方を教えて黒部川の水底深く姿を隠してしまつた。」

宇奈月愛本地区にはこのような大蛇伝説が残っており、昨年からこれにちなんで、六月二十一日に仮装行列が行われている。

「伝統的なものを残していくには、何かイベントをやらなきゃだめです。」と語るのは、宇奈



月商工会の長谷川さん。大蛇行列は商工会が中心となって呼びかけ、地元の人ほぼ全員が参加。蛇は長崎くんちのように、数人が下から棒で操るもので、愛本橋下から愛本橋まで待つ嫁を迎えに行く形で町内を練り歩く。

「地元の人皆さん頑張ってくれましてね、一回目としては満足いくものができました。はじめ、お光の役がなかなか決まらなくてね、前日の





6月は

「土砂災害防止月間」です

土砂災害は緑ゆたかな国土に醜いツメ跡を残し、尊い人命を奪い、耕地を埋め、家屋や道路、鉄道を破壊します。県下における土砂災害危険箇所は、昭和61年から62年にかけて実施した調査の結果約1600箇所あり、昭和の年代に発生した土砂災害は約350件にも及んでいます。

県では従来から積極的に対策工事を実施しているところですが、施設の整備はまだまだ立ち遅れています。

土砂災害から尊い人命を守るためには、施設の築造だけでなく、みなさん一人ひとりの日頃からの十分な理解と備えが重要です。

「土砂災害防止月間」はこのような主旨から、国・都道府県・市町村が一体となって昭和58年から実施しているものです。6月1日から30日までの1ヵ月間、県では、危険箇所のパトロール、土砂災害に関する写真展、工事現場の見学会等を計画しています。みなさんの積極的な参加をお願いいたします。



一瞬のうちに家や田畑、人命までを土砂の底に埋めてしまう恐ろしい土砂災害。この土砂災害には、大きく分けて3つの種類(土石流・地すべり・がけ崩れ)があります。



例えば土石流の場合は、場所によって多少の違いはありますが、降雨量が一時間に二十ミリメートル以上、または降り始めてから百ミリメートルを超えると要注意です。また、長い雨の後に強く降ったりしたときも危険です。とにかく、ふだんから気象情報に注意し、あぶないと思ったら、早めに逃げましょう。

2、大雨の時は、要注意



土砂災害から身を守るためには、まず自分の家のまわりをよく調べ、危険箇所の有無を確認しておきましょう。

1、わが家の危険度を確認

万一に備えて4つの心構え



例えば土石流は、流下速度が速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。ですから、土石流が発生した場合は、流れと直角の方向に逃げるのが鉄則です。

4、緊急避難の際には



ふだんから避難場所、避難経路を決めておきましょう。いざ災害が起きた時に、家族全員が家にそろっているとは限りません。そんな時にもふだんから避難場所を決めておけば安心です。

3、避難場所を決めておく

7月10日(月)「感謝の生活」

金沢女子大学理事長・学長 林 勝次

7月11日(火)「ある売薬人に学ぶ」

作家・県民カレッジ客員教授 遠藤和子

国際化のあり方

7月12日(水)「歴史の虚像と実像」

作家 能坂利雄

7月13日(木)「医学の進歩を皆さんの健康へ」

東京大学・富山医科薬科大学名誉教授 佐々 学

7月14日(金)「ことばのいましめ」

放送ジャーナリスト 広瀬正一

7月15日(土)「心を育てる」

県民カレッジ客員教授 安田節夫



県民カレッジ/受講生募集

暁天講座

- 時間 午前6時30分—8時
- 会場 県民会館304号室
- 定員 200名

☆申し込み 6月12日月より、資料代300円を添えて
県民カレッジへ。
TEL 0764(41)8635(代表)



緑のシャワーとバーベキュー

—立山山麓家族旅行村ゲビン—

県営コンドラスキー場の隣、緑の樹々に囲まれた家族旅行村の中に十八棟(四人用十五棟、八人用三棟)の貸別荘があります。中はバス、トイレ、キッチンが揃っており、外ではキャンプファイヤー、バーベキューもできます。家族連れやグループで利用するのに最適です。

▼申し込み・問い合わせは、立山山麓家族旅行村管理事務所

☎(0764・81・1748)



県展

のお知らせ

県内在住者及び本県出身者を対象とした本県最大の公募展で、日本画、洋画、彫刻、工芸書、写真の六部門の作品が展示されます。

- 期間 六月十日(土)～六月十六日(金)
- 場所 富山県民会館



くらしと物価

通信講座 受講生 募集

通信教育で物価に関する基礎知識が学べます。

- 期間 八月初旬から翌年一月まで
 - 受講料 無料
 - 募集人数 百名
 - 応募締切 七月三十一日
- ※詳しくは、県庁県民生活課まで

県民パソコン教室

ワープロ、パソコンの講座の受講生を募集しています。

- 期間 半日三回
 - 場所 富山県情報教育センター
- ※問い合わせ 情報教育センター
☎0766-5617161



県政の動き

4月11日～5月10日

4月13日

婦人週間のつどい
ニューヨーク州知事夫人表敬訪問



4月14日

二上大橋開通式

4月17日

東洋医学推進懇談会

4月19日

創意工夫功労者、創意工夫育成功労学校表彰式

4月20日

富山県総合情報センター設立総会
科学技術フォーラム

4月21日

富山県がん対策推進本部会議
「国際児童年」10周年記念フォーラム



4月24日

富山県総合開発審議会計画推進部会

4月25日

県土美化推進県民会議

鯉のぼり掲揚

4月26日

砺波学園竣工式

4月29日

「みどりの日」苗木配布
県民緑花カレッジ開講記念講演会
とやまフラワーアート'89 ~5%



5月3日

'89立山山麓グリーンドキュメント

5月9日

遼寧省友好代表団表敬
「とやま賞」贈呈式



5月10日

第40回富山県植樹祭

住宅関連資金融資

【住みよい家づくり資金融資】

- 融資限度額／新築 三百二十万円
改良・中古 二百万円
- 融資利率／五%
- 償還期間／新築 二十年内
改良・中古 十年以内
- 対象住宅／老人同居住宅、耐雪住宅、断熱構造化住宅等

【優良宅地取得資金融資】

- 融資限度額／二百五十万円
 - 融資利率／五%
 - 償還期間／二十年内
 - 対象宅地／富山県住宅供給公社の造成した団地内の宅地及び県の大間山住宅団地内の宅地
- ※詳しくは、富山県住宅供給公社（〇七六四一三二一五一一）又は県庁建築住宅課へ

元成元年 6月街頭献血

日	曜	場 所	時 間
1	木	八尾町役場前	10:00～13:30
		八尾町中央公民館前	14:00～15:30
3	土	富山駅前	10:00～16:00
		高岡駅前	10:00～15:30
4	日	富山駅前	10:00～16:00
		高岡駅前	10:00～15:30
5	月	立山町役場前	10:00～15:30
		富山西武前	10:00～16:00
10	土	滑川市「エール」ショッピングセンター前	10:00～15:30
11	日	富山西武前	10:00～16:00
12	月	城端町役場前	10:00～15:30
17	土	富山市「アビタ」ショッピングセンター前	10:00～16:00
18	日	富山市中央通り(さんぼ〜ろ前)	10:00～16:00
19	月	福光町役場前	10:00～15:30
21	水	氷見市役所前	10:00～15:30
24	土	富山駅前	10:00～16:00
		高岡駅前	10:00～15:30
25	日	高岡駅前	10:00～15:30
26	月	福野町役場前	10:00～15:30

高齢者の交通事故防止!



県では、四月一日から一年間「高齢者の交通安全、みんなの力で」をスローガンに交通安全「ことぶき」県民運動を実施しています。

この運動は、高齢者事故が多発している現状に対処するため、高齢者の交通安全意識の高揚を図り、安全な交通行動の確立を図るとともに、地域、職場、家庭ぐるみで正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけ、県民総ぐるみで交通事故防止を徹底することを目的に実施しているものです。

- ① 高齢歩行者の交通事故防止
- ② 高齢自転車利用者の交通事故防止
- ③ 高齢運転者の交通事故防止

ドライバーの皆さん、歩行者の皆さん、お互いに思いやりとゆずりあいをもって悲惨な交通事故をみんなの力でなくしましょう。

不正大麻 撲滅運動

7月14日まで

「大麻」一般に「あさ」と呼ばれ、幻覚物質が含まれているため、栽培するには許可を受けなければなりません。

「けし」は「ひなげし」のように植えてよいものと、「アヘン」を含んでいるため栽培が禁止されているものがあります。

例年、植えてはいけないけしを間違って觀賞用に栽培している例が見受けられますので注意して下さい。

●なお、これら大麻やけしを発見した場合には、最寄りの保健所か警察署へ連絡して下さい。

土曜閉庁のお知らせ

毎月第2・第4土曜日は、県の機関は休みになりました。

◎ただし、次の機関は、今まで通りです。

- 旅券センター
- 病院・福祉施設
- スポーツ施設
- 小中高等学校
- 図書館・美術館など



派出所 駐在所は 身近な相談室

家庭を訪問した警察官や最寄りの派出所、駐在所の警察官にお気軽に御相談下さい。

- ▼犯罪の予防や各種事故の防止
- ▼交通安全や取締り等についての要望・意見
- ▼不正な商品を買って困った時
- ▼家族の心配ごとや悩みごと

このほか、家出、酔っぱらい、公害や騒音迷惑事案等どんなことでも遠慮なく申し出て下さい。



街角の語り部たち

高島邸 (昭和59年/設計・林雅子)



解説/竺 寛暁 (工学博士・金沢工業大学教授)
写真/風間耕司 (日本写真家協会会員)

明治以来、日本の住宅デザインとは、和風と同時に洋風であらねばならないという、近代日本を象徴する矛盾を解決する努力だったが、現在ようやく一つの答えが出た様である。それは和風でもなく洋風でもない、強いて言えば両者の統合、融合である新しいデザインの確立である。この住宅のデザインはその典型で、かつ、極めて完成度の高い作品である。同時に、富山の住宅デザインには、雪に閉ざされる冬の暮らしに、何を提案するかが問われる。ガラスで覆われた中庭、アトリウムという形の、冬も楽しめる雪無し外空間がここでの答えで、それは美しく成功している。地元の建築家の提案でないことが、私は残念である。



P 24	P 18	P 16	P 14	P 12	P 6	P 2	P 1	表 2	表紙					
編集後記	県からのお知らせ	ふるさとみてある記	宇奈月町	県民生活課	PIN UP TOYAMA	特集/緑豊かな県土をつくる	④二上大橋完成	③植樹祭	②映画『熱きまなざし』砺波口ケ開始	①遼寧省5周年記念	クロスアップ	ひと 田尻睦子	エッセイ 孫久富	大辻山ハイキング

富山県民生活

みなさんの相談窓口

県政については
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
 ☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民電話)
高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
 ☎(0766)21-9411(代)
魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
 ☎(0765)24-5311(代)
砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
 ☎(0763)33-5151(代)

消費生活については
消費生活センター
 富山市安住町7-18
 安住町第一生命ビル内
 (一般相談は) ☎(0764)32-9233
 (金融相談は) ☎(0764)33-3252
消費生活センター高岡支所
 高岡市本丸町7-1
 本丸会館内
 ☎(0766)25-2777

交通事故については
 富山県交通事故相談所東別館1階
 ☎(0764) 31-4111内759
相談110番
 家庭問題・悪質商法・寛せい剤など、どんな相談にも応じます。
 ☎(0764) 32-0110
シルバー110番
 高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
 富山市舟橋南町5-14
 社会福祉会館内
 ☎(0764)41-4110



60 TV
テレビ広報

- 北日本放送 毎週日曜日 AM8:00~8:30
 こんにちわ「富山県です」
 6/11 2000年国体へ選手強化計画
 6/18 自然を観察しよう ねいの里
 6/25 富山の河川、神通川をたずねて
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30
 「110万人のひろば-クイズ/フォーカス・イン」

RADIO
ラジオ広報

- FMとやま
 「ふれあいホットライン」
 県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
 毎週月~金曜日 AM9:30~9:35

NEWS PAPER
新聞広報


- 北日本、富山、読売、北陸中日
 毎月第2土曜日
 「県からのお知らせ」
 毎月最終土曜日
 「みんなの県政」
- 朝日、毎日
 毎月第2、最終土曜日
 「県からのお知らせ」

編集後記

★宇奈月の山男、高嶋さんとはとても魅力的な人です。ニッコリと笑った時の顔は、今でも忘れられません。しかし、山での災害の話になると、うってかわって厳しい顔に。その顔がまた忘れられないくらい真険な顔で、カマラのシャッターを切る手が、思わず止まってしまうました。このような高嶋さんには、ぶつきらほうだけ優しい山男という形容がぴったりくるようです。(M)

★初めまして！今年の四月から社人になった「ピカピカの一年生」です。今回初めてこの「月刊誌県広報とやま」の「コーナー」を担当し、へえー、こうやって本が編集されていくのねえーと一人て感じしていました。まだ先輩にいわれるままの私ですが、どうぞよろしくお願いします！(N)

★中国からのお客さんを迎えるの植樹祭。なごやかな雰囲気の中、日中友好の催しが行われました。みんなが固唾を飲んで見守ったキジの放鳥シーン。緊張のあと、キジが勢いよく飛んでいきました。と、その後、なぜか笑いが。なんとキジの卵が箱の中にあつたのです。キジが残した日中友好の卵に思わず盛り上がったワンカットでした。(T)



未来に向かって 街がおしゃれに動きはじめる



まちづくり月間 6月1日～30日

- 主催／建設省・都道府県・市町村
- 後援／総理府等関係省庁・関係公団・報道関係団体等
- 協賛／まちづくり月間実行委員会

 富山県